

令和6年度 学校教育自己診断結果及び分析・考察

1 生徒用学校教育自己診断結果及び分析・考察について

令和6年度 生徒用 学校教育自己診断		回収率 R6 91.3% R5 91.3% R4 93.1%			
	年 度	よく あてはまる	やや あてはまる	あまりあ てはまらない	まったくあ てはまらない
(項目1) 学校生活は楽しい。	R6	33%	49%	14%	4%
	R5	29%	50%	15%	6%
	R4	34%	50%	11%	5%
(項目2) 淀商に入学して満足している。	R6	20%	49%	22%	9%
	R5	18%	48%	22%	13%
	R4	20%	52%	19%	9%
(項目3) 授業の内容はわかりやすい。	R6	15%	60%	21%	4%
	R5	12%	62%	22%	3%
	R4	13%	60%	23%	4%
(項目4) 先生は、生徒1人1台端末を効果的に活用している。	R6	39%	47%	11%	3%
	R5	32%	52%	13%	2%
	R4	34%	49%	13%	4%
(項目5) グループでの対話や相談、ディスカッション等を活用する授業が取り入れられている。	R6	33%	55%	10%	2%
	R5	23%	58%	16%	3%
	R4	28%	53%	17%	2%
(項目6) 先生は生徒の質問に対して丁寧に対応してくれる。	R6	31%	59%	9%	1%
	R5	25%	60%	12%	3%
	R4	31%	58%	10%	1%
(項目7) 各教科の評価法(成績のつけ方)について理解している。	R6	28%	56%	14%	2%
	R5	29%	54%	12%	4%
	R4	29%	54%	14%	3%
(項目8) 資格取得に熱心に取り組んでいる。	R6	32%	50%	15%	3%
	R5	35%	46%	14%	4%
	R4	40%	47%	11%	2%
(項目9) 一人ひとりの適性に応じた進路指導がなされている。	R6	27%	57%	13%	3%
	R5	19%	56%	18%	6%
	R4	25%	55%	16%	4%

(項目 10) 学科や進路に関する情報が的確に提供されている。	R6	32%	58%	8%	2%
	R5	23%	60%	13%	4%
	R4	27%	56%	14%	3%
(項目 11) 先生は、自分の悩みや相談に親身になって応じてくれる。	R6	28%	57%	12%	3%
	R5	21%	55%	16%	7%
	R4	28%	53%	15%	4%
(項目 12) 基本的な生活習慣が確立できている。	R6	31%	51%	15%	3%
	R5	25%	51%	19%	4%
	R4	29%	54%	14%	3%
(項目 13) 先生や外部からのお客様に対してあいさつができる、敬語が使っている。	R6	43%	49%	7%	1%
	R5	35%	55%	8%	1%
	R4	45%	49%	4%	2%
(項目 14) 生徒会活動・委員会活動・HR活動は活発に行われている。	R6	31%	58%	9%	2%
	R5	29%	58%	9%	3%
	R4	35%	55%	8%	2%
(項目 15) あなたは部活動に取組んでいる。 ①はい ②いいえ	R6	34%	66%	0%	0%
	R5	35%	65%	0%	0%
	R4	38%	62%	0%	0%
(項目 16)①はい と答えた人 現在の部活動の取組みに満足している。	R6	45%	31%	19%	5%
	R5	46%	34%	15%	5%
	R4	49%	39%	8%	4%
(項目 17)②いいえ と答えた人 入部しなかった理由は ①アルバイト ②やりたいクラブがなかった ③しんどそうだから ④その他	R6	30%	32%	17%	21%
	R5	21%	17%	9%	19%
	R4	25%	13%	8%	54%
(項目 18)学校行事は有意義で楽しい。	R6	38%	51%	7%	4%
	R5	30%	53%	12%	6%
	R4	32%	54%	10%	4%
(項目 19) 先生はいじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	R6	33%	57%	8%	2%
	R5	24%	55%	15%	5%
	R4	28%	56%	11%	5%
(項目 20) 命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	R6	38%	54%	7%	1%
	R5	34%	55%	8%	3%
	R4	32%	57%	9%	2%

(項目 21) 学校は、生徒の健康管理に積極的に取り組んでいる。	R6	21%	58%	18%	3%
	R5	22%	53%	19%	5%
	R4	29%	56%	12%	3%
(項目 22) 校内の清掃は協力し、徹底されている。	R6	19%	57%	21%	3%
	R5	19%	55%	21%	4%
	R4	24%	55%	17%	4%
(項目 23) 図書館を利用する。	R6	4%	9%	13%	74%
	R5	6%	10%	13%	71%
	R4	5%	11%	15%	69%
(項目 24) 学校からの配布物を保護者に渡している。	R6	32%	42%	20%	6%
	R5	30%	39%	23%	8%
	R4	32%	40%	20%	8%
(項目 25) 学校のホームページを見ている。	R6	18%	33%	43%	6%
	R5	9%	19%	30%	42%
	R4	8%	23%	31%	38%

1 生徒用学校教育自己診断結果及び分析・考察について

- (1) (項目 1) 「学校生活は楽しい」については「よくあてはまる」「ややあてはまる」の肯定的
回答率が82%であった。(「R6」は淀商フェスティバルが生徒全員の力で成功を収め、学校生活
での思い出を残せることができた。)
- (2) (項目 2) 「淀商に入学して満足している」について、この質問は学校の教育活動全体にか
かる質問である。「R4」より肯定的回答率のはほぼ横ばいである。生徒のニーズに応じた指導・
支援が求められる。昨年度は、学校行事が実施できることとその内容が充実してきたことへの
満足度が上昇の結果につながったと考えられる。
- (3) (項目 3) 「授業の内容はわかりやすい」「R5」の肯定的回答率より上昇がみられた。3年
間ともに70%以上を保持し、ICTを活用した授業の効果がある程度、現れてきた。また、各授
業での1人1台端末の使用率も非常に高くなり、今後も数値の上昇が期待できる。
- (4) (項目 4) 「先生は生徒1人1台端末を効果的に活用している」について「R6」は86%の
結果であった。多くの教員が授業等に活用できている。
- (5) (項目 5) 「グループでの対話や相談、ディスカッション等を活用する授業が取り入れられ
ている。」については「R6」は88%の結果であった。多くの教員が授業等に「主体的で対話的
な深い学習を取り入れ、授業改善は進んでいる。
- (6) (項目 6) 「先生は生徒の質問に対しても丁寧に対応してくれる」の肯定的な昨年度より少し
上昇している。教職員のきめ細かく、適切な対応に継続して取り組んでいきたい。
- (7) (項目 7) 「各教科の評価法（成績のつけ方）について理解している」「R6」の肯定的回答

率は昨年度と同様である。3年間80%以上の生徒が評価法を理解し、日々の学習に取り組んではいるが、問題は12~14%の生徒が理解できていないままである。観点別学習が施行され4年目となり、引き続き説明を継続し生徒間に浸透させなければならない。

(8) (項目8)「資格取得に熱心に取り組んでいる」3年間において80%以上の生徒が商業科や福祉ボランティア科の資格取得に取り組んでいるという数値が示されており、生徒と教職員の取組みの高さがうかがわれている。昨年度の福祉ボランティア科の介護福祉士の国家資格は受験者の100%が合格している。

(9) (項目9)「一人ひとりの適性に応じた進路指導がなされている」3年間において、ほぼ同数の数値を示しているが、R6年度については、昨年度に比べ上昇している。引き続き、生徒の進路に関しては、就職、進学ともに就職率、進学率ともに100%をめざし、取り組んでいきたい。なお、実業専門高校でありながら、近年の生徒や保護者の進路希望は進学が就職を上回る傾向が顕著に現れ、本校も例外ではない。

(10) (項目10)「学科や進路に関する情報が的確に提供されている」について、肯定的回答率が例年と同様数値となっている。商業科や福祉ボランティア科の特色ある取り組みが、生徒間にも浸透し意欲的に活動が継続的に行われていると考えられる。

(11) (項目11)「先生は自分の悩みや相談に親身になって応じてくれる」について、特別支援コーディネーターや養護教諭と情報を共有しながら、担任、教科担当、部活動顧問等、生徒への相談体制をより充実させ、SCやSSWとの連携をもとに生徒の相談他姓になお一層力を注ぎたい。

(12) (項目12)「基本的な生活習慣が確立できている」の肯定的回答率が、「R6」はを示している。職業専門学科を有する学校として、欠席しない、時間を守る、そのためには自分の体調を自分で管理する等について引き続き、指導に取り組みたい。

(13) (項目13)「先生や外部からのお客様に対してあいさつができたり、敬語がつかえている」の結果は日々の担任や教科担当教員の継続した取り組みの結果である。また、商業科のビジネスマナーや商業実践等々、福祉ボランティア科の高齢者施設への実習等々での指導が生徒のほとんどに浸透している結果が示された。生徒においても自分の将来の姿を脳裏に描きながら日々の学校生活を過ごしていると想像できる。教職員全員が根気強く組織的に取組みを継続してきた成果が見て取れ、引き続き100%をめざし取り組んでいきたい。

(14) (項目14)「生徒会活動・委員会活動・HR活動は活発に行われている」。生徒会活動や委員会活動・HR活動はその活動にかかる生徒が多くなるほど活発になり、それを実現できるような指導と教員の生徒へのかかわり方が重要となる。従来、教員が準備し、前面に出ていた学校行事を、R4年度より生徒会の実行委員を中心に、生徒が主体となって作り上げていく体制に移行した。その結果、生徒や教職員の努力の成果が数値として顕著に現れた。

(15) (項目15)「あなたは部活動に取り組んでいる」「はい」の回答が「R6」34%「R4」35%「R4」38%で非常に少なく感じる。特に本年度は部活動に取り組む生徒数が非常に少なく感じた。できるだけ多くの生徒が、学年、クラスを超えた活動に参加しました高校生活3年間でしか味わうことができない活動の体験や経験を積み上げ、自分づくりにいかしてもらいたい。

(16) (項目16)「項目15で、①はいと答えた生徒で、現在の部活動の取り組みに満足してい

る」の肯定的な回答が「R6」76%で、部活動に取り組む生徒数は少ないが年々大会やコンクールでの成績にも現れ、文化部においては地区代表で大阪府下大会への出場や大阪代表として全国大会にも出場する部が出てきた。継続した日々の活動が自分への自信につながり、結果に現れてきた証だと考える。

- (17) (項目 17) ②いいえと答えた生徒で、入部しなかった理由は、①アルバイト②やりたいクラブがなかった③しんどそうだから④その他」について「R6」「R5」「R4」の①のアルバイトが理由として高くなっていることは家庭の経済的な理由からと想像できる。部活動への勧誘や体験入部の実施など新たな取り組みを実践する必要性を感じる。
- (18) (項目 18) 「学校行事は有意義で楽しい」新型コロナ感染予防対策に関連し、行事の規模の縮小や感染症対策として大きな声や3密の遵守等、規制のある中での行事の実施となつたが、その中でも学校としてできることを模索し、生徒と共有しながら実施してきた。生徒は精一杯努力し、その満足度が数値として現れた。
- (19) (項目 19) 「先生はいじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」について、これまでの取り組みが数値として示されている。
- (20) (項目 20) 「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。」「R6」の肯定的回率92%の結果であった。保健部や生活指導部、人権の取組みが浸透している。
- (21) (項目 21) 「学校は生徒の健康管理に積極的に取り組んでいる」について、保健部を中心となり、担任や教科担当者等、組織全体で生徒の健康管理には十分に取り組んでいるので、引き続き取り組みを継続する。
- (22) (項目 22) 「校内の清掃は協力し、徹底されている」前年度同様の低い数字となっている。清掃については校内にはコンピューター機器が多く設置されていることから、ほこりや水分には特に普段から拭き取りなどを行っているが、今後、指導の効果をあげたい。
- (23) (項目 23) 「図書館を利用する」については、低い数値で推移している。授業で図書館を使用するケースを回答に反映すれば、図書館の利用率がさがる傾向にある。
- (24) (項目 24) 「学校からの配付物を保護者に渡している」は、家庭での教育における課題も考えられるが、保護者メールで配付プリントの周知を行い、保護者の目に触れるようになったことが、ポイント上昇の要因である。
- (25) (項目 25) 「学校の HP を見ている」については、学校の取り組みなどは、あまり見ていないことがわかった。中学生やその保護者には淀商業高校の情報をより多く発信する必要があるので、引き続きホームページの更新を継続する。

2 保護者用学校教育自己診断結果及び分析・考察について

令和6年度 保護者用 学校教育自己診断		回収率 R6 63.3% R5 63.3% R4 63.9%			
	年度	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
(項目1) 子どもは学校生活を楽しんでいる。	R6	53%	41%	3%	3%
	R5	37%	50%	10%	3%
	R4	40%	49%	10%	1%
(項目2) 淀商に入学させて良かったと思う。	R6	44%	53%	6%	0%
	R5	42%	46%	10%	2%
	R4	46%	45%	7%	2%
(項目3) 子どもは学校での授業の内容を理解している。	R6	16%	59%	28%	0%
	R5	22%	60%	15%	2%
	R4	23%	58%	18%	1%
(項目4) 子どもは授業がわかりやすく楽しいと言っている。	R6	6%	66%	22%	9%
	R5	13%	48%	31%	5%
	R4	13%	51%	31%	5%
(項目5) 先生は、生徒の質問に対して丁寧に対応してくれる。	R6	19%	56%	22%	0%
	R5	23%	54%	17%	2%
	R4	27%	59%	13%	1%
(項目6) 各教科の評価法(成績のつけ方)について理解している。	R6	9%	72%	16%	3%
	R5	25%	57%	14%	2%
	R4	31%	54%	14%	1%
(項目7) 子どもは、資格取得に熱心に取り組んでいる。	R6	34%	44%	19%	6%
	R5	38%	42%	14%	5%
	R4	45%	40%	13%	2%
(項目8) 一人ひとりの適性に応じた進路指導がなされている。	R6	19%	53%	19%	3%
	R5	20%	53%	18%	2%
	R4	30%	51%	16%	3%
(項目9) 学校は教育情報について提供の努力をしている。	R6	25%	56%	19%	0%
	R5	26%	54%	12%	1%
	R4	30%	54%	15%	1%
(項目10)学科や進路に関する情報が的確に提供されている。	R6	13%	63%	16%	0%
	R5	27%	47%	18%	1%
	R4	30%	55%	13%	2%

(項目 11) 先生は、子どもの悩みや相談に親身になって応じてくれる。	R6	31%	41%	22%	0%
	R5	25%	49%	14%	3%
	R4	29%	53%	15%	3%
(項目 12) いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	R6	25%	50%	9%	0%
	R5	23%	46%	14%	3%
	R4	27%	55%	15%	3%
(項目 13) 学校は子どもに生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を養おうとしている。	R6	28%	56%	6%	3%
	R5	27%	56%	7%	2%
	R4	30%	56%	12%	2%
(項目 14) 子どもは、基本的な生活習慣が確立されている。	R6	34%	59%	9%	0%
	R5	38%	47%	12%	2%
	R4	36%	49%	12%	3%
(項目 15) 学校では生徒会活動・委員会活動・HR活動・部活動は活発に行われている。	R6	34%	53%	9%	0%
	R5	33%	51%	9%	2%
	R4	38%	53%	8%	1%
(項目 16) 学校行事は、子どもにとって有意義なものが多い。	R6	38%	50%	9%	0%
	R5	36%	54%	6%	2%
	R4	38%	52%	9%	1%
(項目 17) 学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。	R6	50%	28%	16%	9%
	R5	36%	37%	12%	15%
	R4	37%	33%	13%	17%
(項目 18) 学校は、生徒の健康管理に積極的に取り組んでいる。	R6	19%	56%	22%	0%
	R5	22%	54%	15%	2%
	R4	30%	53%	14%	3%
(項目 19) 学校からの配布物を子どもから受け取っている。	R6	34%	34%	28%	6%
	R5	42%	39%	15%	4%
	R4	43%	40%	14%	3%
(項目 20) 学校のホームページを見ている。	R6	16%	34%	31%	19%
	R5	24%	37%	27%	12%
	R4	26%	41%	23%	10%

2 保護者用学校教育自己診断結果及び分析・考察について

- (1) (項目1)「子どもは学校生活を楽しんでいる」については、「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の肯定的回答率では84%を示しており、学習面や生徒会活動、部活動等で、生徒が意欲的に活動できたことがうかがわれる。
- (2) (項目2)「淀商に入学させて良かったと思う」の肯定的な回答が、昨年度と同様の結果となっており、保護者としては学校に安心して送り出してくれている。これは学校の取り組みにもある程度信頼を置いてくれている証だとも感じている。「R7」のアンケート数値が上昇するよう教職員が一致団結して教育活動に取り組みたい。
- (3) (項目3)「子どもは学校での授業の内容を理解している」は、3年間一定の数値を維持している。わかりやすい授業をめざし授業改善を行っている。保護者としては、毎学期の通知表や子どもとの会話を参考としてアンケートに回答いただいていると思う。観点別学習やその評価において、(項目3)について注目する必要がある。
- (4) (項目4)「子どもは授業がわかりやすく楽しいと言っている」について「R6」の肯定的回答率72%で、改善の余地がある結果となった。生徒用学校教育自己診断の(項目3)「授業の内容はわかりやすい」「R6」65%との差について、検討していく必要がある。
- (5) (項目5)「先生は生徒の質問に対して丁寧に対応してくれる」「R6」の肯定的回答率75%、を示している。この項目に関しては、家庭において保護者が子どもの意見を聞いてからの回答になるので、示された数値がそのまま子どもが感じている内容だと把握する必要がある。「教職員の生徒への対応として、「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の数値が逆になるようにより丁寧な対応に努めたい。
- (6) (項目6)「各教科の評価法(成績のつけ方)について理解している」は、保護者が評価法に理解を示している割合が一定の割合がある。しかし、理解できていない状態の保護者に対して引き続き教育相談を通して説明する必要がある。観点別学習が施行され、教科や担任によるHRでの説明を生徒には行っているが、保護者に対しても引き続き説明し浸透させなければならない。
- (7) (項目7)「子どもは資格取得に熱心に取り組んでいる。」「R6」の肯定的回答率78%を示している。生徒用学校教育自己診断では「R6」の肯定的な回答率82%を示しており、資格取得への取り組みに対しては保護者も生徒も熱心に取り組んでいると認識している。
- (8) (項目8)「一人ひとりの適性に応じた進路指導がなされている」については、生徒用教育自己診断では、年度を重ねるごとに、保護者との回答率の開きがなくなってきた。担任や進路指導部のきめの細かい指導が保護者にも伝わっている。
- (9) (項目9)「学校は教育情報について提供の努力をしている」について「R6」の肯定的回答率81%で、ホームページやグーグルクラスルーム、保護者メールでのプリント配付等の連絡について理解を得ている結果となった。継続して学校での情報を提供していきたい。
- (10) (項目10)「学科や進路に関する情報が的確に提供されている」については、保護者の方の肯定的回答率の数値が「R6」でほぼ同様であることから、教育情報の提供努力について継続的に実施していきたい。

- (11) (項目 11) 「先生は子どもの悩みや相談に親身になって応じてくれる」については、昨年度とほぼ同率の数値を示している。今後は「ややあてはまる」の数値と「よくあてはまる」の数値が逆転するまでの相談体制を構築する必要がある。
- (12) (項目 12) 本年度からの質問「いじめについて子どもが困っていることがあれば、真剣に対応してくれる」「R6」の肯定的回率 75%であるが、9%もの保護者が否定的な回答となっている。学校に対する信頼感を増すためにも 90%以上の肯定的回率を得ることができるよう、生徒にとってより身近な相談しやすい体制とする。
- (13) (項目 13) 「学校は子どもに生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を養おうとしている」「R6」の肯定的回率 84%で、高い結果となった。生徒に対する普段からの担任や教科担当者とのコミュニケーションやさまざまな講習会の実施の成果が現れた。
- (14) (項目 14) 「子どもは基本的な生活習慣が確立されている」に関しては、保護者の方が基本的な生活習慣が確立できていると感じている。地域の中学校に通学する中学時代の子どもの様子で、距離が遠くなった高校へ通学するための起床から家を出るまでの時間や準備時間を含めて、毎日規則正しく生活していることが現れた数値だと認識できる。
- (15) (項目 15) 「生徒会活動・委員会活動・HR 活動は活発に行われている」については、生徒会主催の学校行事を実現させ、生徒や保護者の満足度があがった結果となった。
- (16) (項目 16) 「学校行事は子どもにとって有意義なものが多い」については、生徒が運営する学校行事には格別な思いがあり、子どもの反応を見て、保護者からは非常に多くの肯定的な回答をいただいた。
- (17) (項目 17) 本年度からの質問「学校の授業参観や学校行事に参加したことがある」については、授業参観や体育祭は平日開催ではあるが、文化祭 2 日目や淀翔モールは土曜日開催なので、ぜひ、学校に来校いただき子どものいきいきとした表情を見ていただきたい。
- (18) (項目 18) 「学校は生徒の健康管理に積極的に取り組んでいる」については、日々の健康観察、体調不良を訴える生徒の適切な対応やさまざまな感染症対策について保護者の理解が高い傾向にある。
- (19) (項目 19) 「学校からの配付物を子どもから受け取っている」については、保護者と生徒との間で数値の開きが顕著にみられ、保護者が受け取ったと思っていてもそれらがすべての配付物ではないと推察できる。配付の際には担任による注意喚起が必要であるとともに、保護者メール等を積極的に活用したい。
- (20) (項目 20) 「学校の HP を見ている」については、生徒用学校教育自己診断の数値と比較すると、保護者の方が関心が深いようである。学校としても日々の教育活動を家庭に伝えることができるよう、HP の更新に尽力していきたい。

3 教員用学校教育自己診断結果及び分析・考察について

令和6年度 教員用 学校教育自己診断		回収率	R6 99.9%	R5 68.2%	R4 90.9%
	年度	よく あてはまる	やや あてはまる	あまりあ てはまらない	まったくあ てはまらない
(項目1) 学校の教育活動について、教職員で日常的に話合っている。	R6	33.3%	40.0%	20.0%	6.7%
	R5	30.0%	43.3%	20.0%	6.7%
	R4	33%	55%	10%	2%
(項目2) 生徒の人権を尊重し、日常の教育活動を行っている。	R6	53.3%	30.0%	16.7%	0%
	R5	50%	33.3%	16.7%	0%
	R4	60%	40%	0%	0%
(項目3) 学校では地震や火災などの災害があった場合の行動を具体的に知らせている。	R6	26.7%	50.0%	20.0%	3.3%
	R5	30.0%	43.3%	20.0%	6.7%
	R4	37%	48%	15%	0%
(項目4) 令和4年度 生徒1人1台端末等、ICTを活用した授業を行った。	R6	46.7%	33.3%	16.7%	3.3%
	R5	44.8	31%	17.2%	6.9%
	R4	45%	38%	7%	10%
(項目5) 「主体的で対話的な深い学習」を授業に取り入れている。	R6	36.7%	43.3%	20.0%	0%
	R5	32.1%	46.4%	21.4%	0%
	R4	28%	50%	20%	2%
(項目6) 教員間での(相互)授業見学を行った。	R6	13.3%	40.0%	40.0%	6.7%
	R5	14.3%	42.9%	35.7%	7.1%
	R4	20%	35%	33%	13%
(項目7) 教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画にいかしている。	R6	26.7%	50.0%	16.7%	6.7%
	R5	24.1	51.7%	17.2%	6.9%
	R4	28%	60%	10%	2%
(項目8) 学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒(生活)指導を行っている。	R6	36.7%	50.0%	13.3%	0%
	R5	40%	46.7%	13.3%	0%
	R4	33%	58%	7%	2%
(項目9) 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。	R6	26.7%	56.7%	13.3%	3.3%
	R5	23.3%	60%	13.3%	3.3%
	R4	33%	55%	4%	3%
(項目10)学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	R6	36.7%	56.7%	6.7%	0%
	R5	33.3%	60%	6.7%	0%
	R4	60%	33%	2%	5%

(項目 11) 生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	R6	23.3%	53.3%	16.7%	6.7%
	R5	20.7%	55.2%	17.2%	6.9%
	R4	33%	53%	13%	1%
(項目 12) 将来の進路や生き方などについて情報提供したり生徒に考えさせる指導を行っている。	R6	26.7%	50.0%	20.0%	3.3%
	R5	30%	46.7%	20%	3.3%
	R4	30%	58%	12%	0%
(項目 13) いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。	R6	46.7%	36.7%	13.3%	3.3%
	R5	43.3%	40%	13.3%	3.3%
	R4	55%	45%	0%	0%
(項目 14) 平和、社会のルール、人権尊重、生命の大切さなどについて学ぶ機会を提供している。	R6	30.0%	46.7%	23.3%	0%
	R5	26.7%	46.7%	26.7%	0%
	R4	38%	45%	17%	0%
(項目 15) 学校では生徒の個人情報が守られている。	R6	63.3%	33.3%	3.3%	0%
	R5	53.3%	33.3%	13.3%	0%
	R4	93%	7%	0%	0%
(項目 16) 教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。	R6	26.7%	53.3%	16.7%	3.3%
	R5	20%	60%	16.7%	3.3%
	R4	48%	43%	9%	0%
(項目 17) 家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。	R6	40.0%	40.0%	20.0%	0%
	R5	41.4%	37.9%	20.7%	0%
	R4	45%	45%	8%	2%

3 教員用学校教育自己診断結果及び分析・考察について

- (1) (項目 1) 「学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている」については、教科会や分掌会、学年会等々、普段の打ち合わせ等も含めてほとんどの教員が話し合っている。
- (2) (項目 2) 「生徒の人権を尊重し、日常の教育活動を行っている。」については、生徒への対応や言葉使いについて丁寧な指導が行われている。
- (3) (項目 3) 「学校では地震や火災などの災害があった場合の行動を具体的に知らせている。」については、1年に2回の災害、火災の避難訓練において災害の際の行動を周知している。
- (4) (項目 4) 「令和4年度生徒1人1台端末等、ICTを活用した授業を行った。」については、1人1台端末はアプリを使用した授業から、調べ学習まで幅広く活用できることもあり、ほとんどの教員が授業で活用している。
- (5) (項目 5) 「主体的で対話的な深い学習を授業に取り入れている。」については、教科の特性にもよるが、本校の学科の特性を考えると両学科ともにお客様や利用者の方とのコミュニケーション

ションが非常に重要である。また、自分の意見を大勢の前で主張できるよう発表の授業も非常に大切である。授業改善は進んでいると考える。

- (6) (項目 6) 「教員間での（相互）授業見学を行った。」については、授業の空き時間を利用して、同一教科とは限らず幅広く ICT を活用した授業や主体的で対話的な深い学習を取り入れた授業等を見学し、自身の授業に取り入れ、授業改革、改善に向けさらに取り組みを進める。
- (7) (項目 7) 「教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画にいかしている。」については、学校教育自己診断の生徒・保護者の結果や各学科・教科でのアンケート、授業アンケート等の結果をもとに評価し、次年度に生かしていきたい。
- (8) (項目 8) 「学校ではカウンセリングマインドを取り入れた生徒（生活）指導を行っている。」については、教科指導、生活指導、部活動指導等のあらゆる場面で、一方通行的な指導ではなく、生徒との対話を重視しながら指導に当たっている。
- (9) (項目 9) 「教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。」については、担任以外にも教育相談委員会、特別支援委員会等の他に保健主事、養護教諭、保健部等での相談体制が整備されている。スクールカウンセラーやスクールソウシヤルワーカーとの教職員との連携も十分に整っている。
- (10) (項目 10) 「学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。」については、生徒会顧問を中心に生徒主体の学校行事を構築しているが、生徒会の意図することを各クラスの委員が周知し、担任がその後押しを行っている。教師主導の学校行事ではなく、生徒が大活躍する行事を実現できている。
- (11) (項目 11) 「生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択できるよう、きめ細かい指導を行っている。」については、段階的・系統的進路指導は実施されていくものであり、1学年から行われてきた進路行事が生徒たちの進路選択のきっかけとなり、3年次での希望進路に繋げている。
- (12) (項目 12) 「将来の進路や生き方などについて情報提供したり生徒に考えさせる指導を行っている。」については、担任や進路指導を中心に、1学年の早い時期から自分の進路について意識させるようにしている。教科指導においても、教科の特性をいかして折に触れ、進路選択の話をしている。
- (13) (項目 13) 「いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。」については、いじめアンケートとその回答への迅速な対応、生徒から相談があった場合の対応等、生活指導部や人権担当者を中心に丁寧な対応を行っていきたい。
- (14) (項目 14) 「平和、社会のルール、人権尊重、生命の大切さなどについて学ぶ機会を提供している。」については、人権推進委員会による教職員や生徒への人権講習会の開催、保健部主催の命の大切さに関する講習会、や AED 講習会、エビペン講習会、生活指導部による交通安全講習会等、学ぶ機会、考える機会を幅広く提供している。
- (15) (項目 15) 「学校では生徒の個人情報が守られている。」個人データの管理、ホームページへの掲載許可、生徒に関わる書類の複数点検等、学校では常に生徒の個人情報が流出、紛失しないよう細心の注意で取り組んでいる。
- (16) (項目 16) 「教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。

る。」については、教育活動に必要な情報についてはホームページや保護者メール、グーグルクラスルーム等を活用し生徒や保護者、地域へも情報を発信している。学校運営協議会にも教育活動の情報を提供し、委員の意見も学校運営に取り入れている。

(17) (項目 17) 「家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。」については、担任を中心 に、家庭への連絡を行っている。全体に共通している事柄については、担任からの連絡とホー ムページ、保護者メールを活用している。保護者からの意見等は担任からフィードバックし、 全体で共有するようにしている。